

平成29年5月18日
於
府中市立教育センター

平成29年第5回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成29年第5回府中市教育委員会定例会議事録

- 1 開 会 平成29年5月18日(木)
午後3時00分
閉 会 平成29年5月18日(木)
午後3時43分
- 2 議事録署名員
教育長 浅 沼 昭 夫
委 員 那 須 雅 美
- 3 出席者
教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘
委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 那 須 雅 美
委 員 松 田 努
- 4 欠席者
なし
- 5 出席説明員
教育部長 関 根 昌 一 文化スポーツ部長 五味田 公 子
教育部次長兼学務保健課長 堀 江 幸 雄 文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長 沼 尻 章
教育部副参事兼指導室長 伊 藤 聡 文化生涯学習課長 古 田 実
教育総務課長 志 摩 雄 作 ふるさと文化財課長補佐 渡 辺 純 子
教育総務課長補佐 遠 藤 公巳明 スポーツ振興課長補佐 青 木 達 也
学校施設課長 山 田 英 紀 美術館副館長 須 恵 正 之
学校施設課長補佐 藤 原 英 行
給食センター所長 時 田 浩 一
給食センター整備担当主幹 大 井 孝 夫
指導室長補佐 鈴 木 正 憲
学校教育指導担当主幹 日 野 正 宏
統括指導主事 田 村 貴代美
指導主事 棗 まゆみ
指導主事 田 中 繁 広
指導主事 高 橋 誠
- 6 教育委員会事務局出席者
教育総務課係長 鈴 木 紘 美
教育総務課主任 國 分 真 耶

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第25号議案

臨時代理による処理の承認を求めることについて

(平成29年度学校薬剤師の変更について)

第26号議案

府中市学校施設老朽化対策推進協議会委員の委嘱について

第27号議案

企画展「フィンランド独立100周年記念 フィンランド・デザイン展」の前売観覧券の観覧料について

第4 報告・連絡

- (1) 寄附の採納及び感謝状の贈呈について
- (2) 第8期府中市生涯学習審議会委員の構成について
- (3) 「平和展」の開催について
- (4) 郷土の森博物館「あじさいまつり」の開催について
- (5) 2017ボールふれあいフェスタの開催について
- (6) 第28回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後3時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、ただいまより平成29年第5回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきましては、本日は私のほか那須委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） では、お願いします。

傍聴の方に申しあげます。本日の第25号議案につきましては、資料に個人情報が記載されているため、該当する部分の記載を省略させていただいておりますので、ご承知おきください。

_____ ◇ _____

◎第25号議案 臨時代理による処理の承認を求めることについて
（平成29年度学校薬剤師の変更について）

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、第25号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） それでは、第25号議案「臨時代理による処理の承認を求めることについて（平成29年度学校薬剤師の変更について）」、お手元の資料に基づきご説明させていただきます。

1、2ページをお開きください。平成29年度の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱につきましては、平成29年1月19日開催の第1回教育委員会定例会においてご承認いただいておりますが、府中市立矢崎小学校の学校薬剤師の先生から退任の意向があったため、新たに府中市学校薬剤師会からご推薦いただいた先生に委嘱をお願いするものでございます。

本来であれば学校薬剤師の委嘱につきましては、学校保健安全法第23条の規定に基づき教育委員会が行うものでございますが、学校薬剤師不在による保健衛生業務の影響等を考慮し、府中市教育委員会の権限委任等に関する規則第6条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に承認事務を代理いたしました。本件につきましては、先の規則第6条第2項の規定に基づき、臨時代理による処理の承認を求めるものでございます。

臨時代理した事務につきましては、2ページに記載したとおり、矢崎小学校の学校薬剤師である山口久美恵先生の退任に伴い、平岡直之先生を新たな学校薬剤師として委嘱いたしま

した。委嘱期間は、平成29年5月1日から平成30年3月31日までを予定しております。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。

何かご質問はございますか。よろしいですか。

ご意見はいかがでしょうか。いいですか。

それでは、お諮りします。第25号議案「臨時代理による処理の承認を求めることについて（平成29年度学校薬剤師の変更について）」、承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり承認いたします。



◎第26号議案 府中市学校施設老朽化対策推進協議会委員の委嘱について

○教育長（浅沼昭夫君） 続いて、第26号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○学校施設課長補佐（藤原英行君） それでは、ただいま議題となりました第26号議案「府中市学校施設老朽化対策推進協議会委員の委嘱について」、お手元の資料に基づき説明させていただきます。

府中市学校施設老朽化対策推進協議会委員は、府中市学校施設老朽化対策推進協議会規則に基づく非常勤特別職として教育委員会が委嘱するもので、定員は14人以内。任期は2年でございます。

今回委嘱を予定する委員は14人としておりまして、各委員の選出・区分・氏名・役職名につきましては、表に記載のとおりでございます。なお、協議会の所掌事務は、市立学校の施設における老朽化対策の推進に関する事項としておりまして、府中市学校施設改築長寿命化改修計画の策定に当たり、ご意見を賜りたいと考えております。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。

何かご質問はございますか。

○委員（那須雅美君） 公募する際には、市の広報などで募集されているとは思いますが、もう一度どのような形で、恐らく作文か何かだったと思うのですが、どのようなテーマで作文をお書きいただいて、あと何名の応募があったかを教えていただけますか。

○学校施設課長補佐（藤原英行君） まず公募市民の募集につきましては、平成29年4月3日から4月21日までの19日間で、市ホームページ及び「広報ふちゅう」4月1日号、それと学校施設課窓口で募集を行い、5人の応募がありました。また、公募委員の応募の作文のテーマとしまして、「地域活動の場としての学校施設のあり方」について、作文をいただいております。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

ほかにご質問はいかがでしょうか。

ご意見はいかがでしょうか。よろしいですか。

それではお諮りします。第26号議案「府中市学校施設老朽化対策推進協議会委員の委嘱について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第27号議案 企画展「フィンランド独立100周年記念
フィンランド・デザイン展」の前売観覧券の観覧料について

○教育長（浅沼昭夫君） 続いて、第27号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○美術館副館長（須恵正之君） それでは、ただいま議題となりました第27号議案につきましてご説明いたします。

本件は、9月9日土曜日から10月22日日曜日まで開催予定の「フィンランド独立100周年記念 フィンランド・デザイン展」の前売観覧券を制作するに当たり、その料金についてご決定いただくものです。

まず1の「観覧券の前売り」についてですが、フィンランド・デザインが広く世界中に親しまれ、近年日本でも女性を中心に人気が大変高まっています。今回の展覧会は、フィンランド・デザインの過去、現在、そして未来につながるフィンランド・デザイン精神を紹介する展覧会で、相当の観覧者を期待できることから、展覧会の開催前にポスター掲示、チラシ配布などの広報を行い、その機会を利用して観覧数の増加を図り、広報の一層の効果拡大を期するため、観覧券の前売りを実施するものです。

次に2の観覧料ですが、記載のとおり団体割引料金に応じて2割引といたします。既定の観覧料は、本年2月の第2回教育委員会定例会においてご承認いただいたものです。なお、この前売り券を販売する場所ですが、美術館受付、そしてコンビニエンスストアなどを考えております。

説明は以上でございます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。

何かご質問はございますか。

○委員（松田 努君） 相当の観覧数を見込んでいるということですが、大体過去の展覧会などの実績から、どれぐらいの観覧人数を見込んでいるのでしょうか。

○美術館副館長（須恵正之君） デザイン展の観覧数というのは、なかなか読むことが難しい展覧会なのですが、近年のデザイン展の人気とかそういうところを見ますと、今巡回の最初が福岡市博物館から始まっておりますけれども、福岡市博物館での観覧数は5万人を超えておりますので、府中市美術館におきましても相当の観覧数が期待できるものと考えておまして、2万を超える観覧数は期待できると考えております。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。

○委員（那須雅美君） 議題にこの前売り券の観覧料ということが挙がってきたということは、前売りをする事自体が珍しいものなのではないでしょうか。

○美術館副館長（須恵正之君） 府中市美術館の企画展において今までに前売りを行ってまいりましたのは、平成26年度のみレー展が最初になります。26年がみレー展、27年がマリー・ローランサン展、28年が藤田嗣治展。今回は4回目となっております。

○委員（那須雅美君） 4展に限ったということは、収支の関係が何かでしょうか。

○美術館副館長（須恵正之君） コンビニエンスストアなどで前売りを行いますと、どうしても手数料等もかかりますので、相当の観覧数を見込める展覧会だけに限りまして前売りを行っているという状況となっております。

○委員（那須雅美君） そうでしたら、先のご説明でどれぐらいの方が来ていただけるか見込むのは難しいというお話でしたけれども、コンビニエンスストアで販売する場合、前売り券で手数料がかかる。そのときに、この金額でどれぐらいの方が来てくださったら、手数料込みでいい結果が得られるのかという収支の観点と、あともう一つは、団体割引に準じて2割引という設定になっていますけれども、ほかの美術館で前売り券の設定をする際には、その美術館の団体割引と同様の感じなのではないでしょうか。教えてください。

○美術館副館長（須恵正之君） 1点目の、前売りにおきます効果ということですがけれども、やはり広報の効果、かなり事前に早くから広報活動ができるという効果もございました。2万人を超える展覧会においては前売りというのは、相当に効果が期待できるものと考えております。また、前売りの料金につきましても、他館におきましての団体料金に準じているところが大半だと思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。具体的な数字はなかなか出しにくいというのがあるのだらうと思えますけれども、それはいかがですか。

○委員（那須雅美君） 細かい話で申し訳ないのですが、どれぐらい前売り券が売れると、手数料を差し引いても前売りの効果が出たとみなされるのか、要は金額ですね。何枚売れたら手数料はペイするのか、という感じの試算はあるのでしょうか。

○美術館副館長（須恵正之君） そういう形での計算はしておりません。

○教育長（浅沼昭夫君） では、今後はそれについても研究をしていただくということで、今回はよろしいですか。

今までは収支の決算というのは、そのことを目標にして収支経営の算出はしたことがないというので、もし可能なら、今後そういったことをやってもらうことも必要だというご意見として受け止めてよろしいですか。

ほかにご質問はいかがでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） 大変おもしろそうな企画だと思います。フィンランド独立100周年記念と謳っているわけですが、この展覧会につきましても、ほかの国際的な行政機関とか、あるいはフィンランド本国の関係機関とか、そういったものとの関わりは何かあるのでしょうか。

○美術館副館長（須恵正之君） 今回のフィンランド・デザイン展につきましても、フィンランドがロシアから独立して100年ということで、フィンランド国内外で記念事業が行わ

れているところをごさいます、このフィンランド・デザイン展につきましても、フィンランド大使館から後援していただいたの記念事業という形になっております。

今回府中市でフィンランド・デザイン展を開催するに当たりましては、展示の難しいデザイン系の展覧会開催経験がある緑豊かな東京会場ということで、府中市美術館が開催に選ばれたものと考えております。

○委員（齋藤裕吉君） デザイン展ということになると、人々の生活に関連するようところで生かされる部分がたくさんあると思うのですけれども、例えば、その会場においてこのデザイン展の趣旨を生かした展示・販売物はあつたりするのでしょうか。何か特別な器を販売するとか、あれば楽しいなと思って質問しているのですけれども。

○美術館副館長（須恵正之君） フィンランド・デザイン展につきましては、やはり、マリメッコとか、女性の好きなデザインも多くございますので、物販につきましても力を入れて展覧会をやってまいりたいと考えております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

ご意見はどうでしょうか。よろしいですか。

それではお諮りします。第27号議案「企画展 フィンランド独立100周年記念 フィンランド・デザイン展の前売観覧券の観覧料について」、このとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案のとおり決定いたします。



◎寄附の採納及び感謝状の贈呈について

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第4、報告・連絡に移ります。

報告・連絡（1）を教育総務課、お願いします。

○教育総務課長補佐（遠藤公巳明君） それでは、資料1「寄附の採納及び感謝状の贈呈について」をご報告いたします。

今回は1件をごさいます、学校教育の振興に供するために寄与されたものでございます。今回ご報告する寄附の採納先は、府中市立府中第十中学校でございます。寄附品は大型テント8張90万7,200円。寄附者は府中市立府中第十中学校同窓会会長石川佳正様。受領日は平成29年5月9日でございます。

なお、府中市教育委員会表彰規程第10条によりまして、委員会が適当と認めるときは感謝状を贈呈できることとなっておりますので、贈呈することといたします。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきましても、何かご質問・ご意見あわせてございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎第8期府中市生涯学習審議会委員の構成について

◎「平和展」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（2）と（3）を一括して、文化生涯学習課、お願い

します。

○文化生涯学習課長（古田 実君） それでは、お手元の資料2に基づき、第8期府中市生涯学習審議会委員の構成について、引き続きまして資料3に基づき、平成29年度平和展の開催について、以上2点を一括にして文化生涯学習課からご報告いたします。

初めに「第8期府中市生涯学習審議会委員の構成について」でございますが、本年第3回府中市教育委員会定例会において、平成29年4月1日からの2年間の任期とする15名の委員の報告をいただきましたが、去る4月26日に開催されました第1回府中市生涯学習審議会において会長及び副会長が互選されたほか、学校教育分野における委員が決定いたしましたのでご報告するものでございます。

会長に、青山学院大学名誉教授の寺谷弘壬氏が、副会長に生涯学習ファシリテーターの三宅昭氏が選任されました。また、学校分野における委員は若松小学校校長の中西裕子氏が決定いたしました。なお、ほかの委員構成は記載のとおりでございます。

続きまして資料3をご覧ください。市民が平和への関心を高め、理解を深めていただくことを目的に、平成29年度の平和展を開催いたします。今年度は平和展を3回開催する予定としており、その第1回目として6月1日木曜日から9日金曜日まで、府中グリーンプラザ分館ギャラリーにおいて、山口県周南市にある回天記念館よりお借りしたパネル30点を展示いたします。委員の皆様におかれましては、ぜひご高覧いただきたくご案内申しあげます。

報告は以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この2件につきまして、何かご質問・ご意見はございますか。どちらからでも結構でございます。

○委員（齋藤裕吉君） 資料3の平和展、内容のところにありますけれども、山口県の回天記念館、私は承知していませんけれども、この回天というのは人間魚雷か何かでしたか。

○文化生涯学習課長（古田 実君） 今、齋藤委員からのご質問にありました内容でございますが、おっしゃるとおりでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。では、那須委員。

○委員（那須雅美君） 同じ質問でした。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（2）と（3）をあわせて了承いたします。



◎郷土の森博物館「あじさいまつり」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（4）をふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） それでは、ふるさと文化財課から資料4に基づき、郷土の森博物館「あじさいまつり」の開催につきましてご報告いたします。

郷土の森博物館の園内では1万株30種類のあじさいが5月末から色づき始め、6月中旬から下旬にかけて見ごろを迎えます。会期は5月27日土曜日から7月2日日曜日まででございます。期間中はあじさい工房であじさいの飾りづくりや、お茶室ではこの期間限定のあじさい餅が楽しめる呈茶のほか、昨年度から新たに企画して実施しているあじさいコンサー

トでは、博物館30周年記念事業の1つである府中の森芸術劇場による出張コンサートのほか、武蔵国府太鼓の演奏会や府中市芸術文化協会、むさし府中笛連盟の篠笛の演奏など、市民協働による多彩なコンサートを実施いたします。ぜひとも、あじさいまつりへのご来場をお待ちしております。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） あじさいまつり、何かご質問・ご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（4）について了承いたします。



◎2017ボールふれあいフェスタの開催について

◎第28回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（5）（6）を一括して、スポーツ振興課、お願いします

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） それではスポーツ振興課より、2017ボールふれあいフェスタ及び第28回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催につきまして、一括してご報告いたします。

初めに「2017ボールふれあいフェスタ」の開催につきまして、お手元の資料5に基づきご報告いたします。

本事業は、子どもたちに日本のトップレベルのスポーツ選手と触れ合うことで、スポーツが本来持つ楽しさを体験してもらうことを目的として開催しており、今年度は6月4日日曜日に郷土の森総合体育館及びサッカー場で開催いたします。

第14回目となる今回も、府中市を活動の拠点としているラグビーの東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、バスケットボールのアルバルク東京、サッカー及びバレーボールのFC東京、フットサルの府中アスレティックフットボールクラブという6つのトップチームと市内の関係団体のご協力のもと実施いたします。

なお、今回は東京2020オリンピック・パラリンピックの啓発として、エキシビションで車椅子バスケットボールの競技紹介及び競技体験のほか、スケートボード体験やボッチャ体験のコーナーを設ける予定でございます。

続きまして、第28回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催につきまして、お手元の資料6に基づきご報告いたします。

本事業は、広く市民の間にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、市民1人1人がその活動の振興に貢献することを目的として開催しており、今年度は6月18日日曜日午前10時より、郷土の森総合体育館で総合開会式を行います。

開会式終了後には、市民団体による新体操や太極拳等の演技種目の発表が行われるほか、その後14の競技種目が1か月余りにわたって実施されますが、その多くが小中学生も参加できるものとなっております。なお、5月21号の「広報ふちゅう」に参加者募集の記事を掲載することにあわせ、実施要項と申込書を各小中学校に配付する予定でございます。

詳細につきましてはそれぞれ資料のとおりでございますが、委員の皆様にもご承知おきいただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問・ご意見はございますか。

○委員（那須雅美君） ボールふれあいフェスタについてお伺いしますが、多分小学生ぐらいのお子さんがいらっしゃるご家族が多いと思うのですけれども、そういう触れ合い体験はしないけれども、オリンピック・パラリンピックの車椅子バスケットボールの競技紹介だけを見に行きたいという市民もおられるかもしれないので、このチラシ上では細かな時程みたいなものは書かれていませんが、ネット上か何かで、このパラリンピック競技は何時ごろに行いますというような広報をされる予定はありますか。

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） ただいまのご質問でございますけれども、ご指摘のとおり、こちらのチラシにおきましてはそういった時程についてはお載せしていないのですけれども、ホームページでは載せておりますので、そちらでご確認いただく形になると思っています。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

ほかにご質問・ご意見はございますか。

○委員（松田 努君） 同じくボールふれあいフェスタについてなのですが、参加人数というのはそれぞれの種目などで統計したりしているものなののでしょうか。延べの参加人数や、それぞれバレー、バスケ、サッカー、ラグビーの競技ごとでは大体どのくらいの方が参加してくれたなどという数字があれば教えてください。

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） ただいまの質問でございますけれども、今回は第14回目の開催となっております。また来場者数ですけれども、全体では毎年2,000名程度のご来場をいただいているところなのですけれども、競技ごとの数字については申し訳ございません、詳細については把握しておりません。

○委員（松田 努君） わかりました。

雨天決行ということなので、雨が降ったときは多分人工芝のラグビーのエリアが使えなくなって、第2体育館かどこかで、ほかの競技と半分半分でやったりすると思うのですけれども、うちのラグビー部から話を聞いたところ、当然最初からラグビーをやりたくて来る方は人工芝に来るのだけれども、そうではなく全部をやりに来た子たちは人工芝まで足が届かないというか、もちろん案内はしてくださっていると思うのですけれども、そういう傾向があるようです。

おとし雨が降って体育館でやったときのほうが、人がいっぱい来てくれたという感想を述べていたので、そんな話をしました。何か改善できればいいなと思います。

○教育長（浅沼昭夫君） ご意見ということで、後は事務局に任せていただけるということでよろしいですか。

では、そのことを踏まえて、可能な限り参加される選手の方々のご期待に応えるためにも工夫をしていただくということで、事務局、どうぞよろしく願いいたします。

ほかにかがででしょうか。

○委員（那須雅美君） 先ほどの意見につけ加えなのですけれども、ネットに車椅子バスケットボールが実施される時間が書いてあるというお話でしたけれども、もし次年度以降も、こういう見て楽しめるような企画が盛り込まれることがあれば、チラシをつくるときに

何時から何時に来ていただくと見られます、というのを入れていただくほうが、チラシのほうが広く皆様の目に触れる機会が多いと思いますので、ご検討ください。

○教育長（浅沼昭夫君） ではご意見ということで、次回に向けてということでもよろしいですか。

ほかにいかがでしょうか。

なければ、報告・連絡（5）（6）について了承いたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他でございますが、何かございますか。
よろしいですか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況につきましては、別紙の「平成29年第5回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。

なお、この報告書は平成29年4月15日から平成29年5月13日までの活動内容となっております。

私からの報告は特段ございません。

以上です。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。

活動状況については別紙のとおりでございます。まず崎山委員、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） 崎山から報告いたします。

5月4日、くらやみ祭の山車行列に武蔵台地区から参加しました。武蔵台は15年前から山車行列に加わるようになった比較的新しい山車で、武蔵台、北山町、西原町の地域の子どもたちが参加しています。学校区でいえば、武蔵台小学校、第七小学校、第七中学校に相当します。

例年学校の先生方にもご協力をいただいているのですが、今年は武蔵台小、七小、七中の校長先生をはじめとして15名以上の先生方が参加してくださいました。そのおかげもあって、全体の参加者数が200名を超えて、とても楽しい1日を皆さんとともに楽しむことができました。お囃子を演じている子どもたちも、やはり参加者が多いほうがやりがいもあることでしょう。

また、大國魂神社付近では他の学校の先生方、校長先生方にも大勢お会いしました。ゴールデンウイークのさなかの休日を、府中の子どもたちのために地域とのかかわりをご配慮いただき、参加していただいた先生方に感謝いたします。

13日土曜日、報告にも書きましたが、府中の森芸術劇場どりーむホールで開催された、府中市青少年吹奏楽団第56回定期演奏会を鑑賞してまいりました。創立52周年を迎えた楽団の演奏を通して、音楽から感動と楽しさを享受する身近な機会があることをうれしく思

うとともに、今後の活躍を期待したいと感じました。

崎山からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

続いて齋藤委員、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） 私からは、この間のゴールデンウイークのとき、あちこちの美術館や博物館などをめぐってみましたので、その感想を幾つか述べてみたいと思います。

まず府中市美術館の歌川国芳展についてです。私が府中市美術館に参りましたのは5月3日で、後半の展示ももう間もなく終了しようというときでした。連休中でもありますので、きっと参加者も多いだろうと予想してまいりましたけれども、入場制限をするほどの混みようで、私もエスカレーターの下でしばらく待つことになりました。その後展示室に入っても参観者が大変多くいらっしやいまして、皆さんゆっくりと鑑賞していらっしやいました。

展示作品は皆さんおわかりのとおり、江戸時代後期の庶民の嗜好を反映した武者絵とか役者絵とか、動物を擬人化した絵などでありまして、じっと見ておきますと、江戸時代の人々と同じ気持ちになってその絵の世界を楽しめるような、そんな気分になることができました。

次に翌日の5月4日、ふるさと府中歴史館で行われました「くらやみ祭展ギャラリートーク」に参加しての感想でございます。この日、大國魂神社では万灯大会などが行われておりまして、境内は大いににぎわっておりました。ふるさと府中歴史館の来館者も大勢いらっしやいました。

このギャラリートークでは、くらやみ祭を長年研究していらっしやる郷土の森博物館の小野館長と長年くらやみ祭の絵を描き続けてこられた綾部好男さん、お2人のお話がありました。小野館長のお話はとてもわかりやすく、府中の歴史文化を解くキーワードを国府・宿場・祭りとして、11世紀の平安時代中ごろから現代に至るくらやみ祭の歴史を、この3つのキーワードで語っていただきました。また、最後のお話のまとめとして、「まちが変われば祭りが変わる、祭りが変わってまちが発展する」というお話で、府中のまちの歴史を語っていただきました。

綾部さんのお話は、くらやみ祭を長年にわたって描き続けてこられて、数多くの作品を残していらっしやって、今も例えば銀座で個展を開いていらっしやるということで、くらやみ祭とともにこの40～50年間を生きてこられたということでありまして、描いた作品をもとにしながら、祭りに直接かかわっている人だからこそ言えるような体験に基づくお話をしてくださいました。

話を聞いている人は、みんなますます府中が好きになり、愛着を持てるような、そのようなギャラリートークであったと思います。

というわけで、この連休を中心に歴史と文化のまち府中のすばらしさを十分に味あわせていただきました。

私からは以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは続いて那須委員、お願いします。

○委員（那須雅美君） 私からは、2点ご報告いたします。

まずは、江戸東京たてもの園における川崎平右衛門の特別展についてです。武蔵府中郷土かるたの「き」と言えばと聞くと、もうとっくに成人してしまった子どもに聞いても、「ききん救った平右衛門」と即座に答えが返ってきます。その平右衛門が登場した時代背景や事績が、人物相関図や数々の平右衛門の証文や記録文書などとともに、わかりやすく紹介されていました。

私が訪れたのは平日の午前中だったのですが、個人・グループを含め来訪されていた方々が感想を言い合いながら、展示を熱心にご覧になっていました。また最後のコーナーには、府中市・小金井市・国分寺市などの小学校で使用している副読本が展示されており、川崎平右衛門がそれぞれの市でどのように紹介されているのか、その差を見ることができ、とても興味深かったです。

次に、ふるさと府中歴史館のくらやみ祭展についてです。先ほど齋藤委員からのご報告にもありましたけれども、くらやみ祭期間中には多くの子どもがワークショップに参加したり、友達あるいは親子でデジタル郷土かるたの対戦に興じていたり、とてもにぎわっていました。

祭りの最中のため、館内のトイレには長い列ができていましたし、東西両玄関の前には腰かけて飲食をする方も多く、環境整備が大変だったのではないかと思います。職員の皆さんは、府中やくらやみ祭の歴史に関して広く広報する使命感を持って、この祭り期間中の臨時開館業務に当たっておられたことに感じ入りました。

個人的には、改めてくらやみ祭の歴史を学びました。祭りに関する過去の新聞記事が展示されていましたが、信じられないようなけんか沙汰があったということが書いてあって、少し驚きました。

ギャラリートーク終了後の展示解説のときには、職員の方から詳しく説明していただき、また、その展示解説と一緒に参加したご年配の方々からも、ご自身が子どものころに体験したくらやみ祭の話を教えていただき、さらに知識が深まりました。

武蔵府中郷土かるたの「き」の札で川崎平右衛門の名前を覚えていたり、デジタル郷土かるたで盛り上がる子どもたちを見て、武蔵府中郷土かるたは府中の文化や歴史、自然を楽しみながら知ることができるよいツールであると感じました。

ちなみに、大國魂神社に関する札は幾つかありますけれども、特にくらやみ祭に限定すると、「八つのみこしに大太鼓」と「府中ばやしの笛太鼓」になるでしょうか。小学3年生に配布することだけにとどまらず、有効に活用する取組があるといいと感じました。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

続いて松田委員、お願いします。

○委員（松田 努君） 前回から今回にかけての期間はなかなか都合が合わず、行事などに参加できませんでした。今週末から運動会や体育祭、そのほかスポーツイベントなど多々ありますので、ぜひ参加させていただきたいと思います。

それから、各学校からの「学校だより」を読ませていただいて、4月号には新年度の始まりということで、教育方針や目標などが多く紹介されていました。またそれと同じくらい、

挨拶について多くの学校が触れているのを拝見しました。

挨拶するのは当たり前で簡単で、誰でもできると思いがちですが、意外とできない子どもも多かったり、またできない大人も多くいます。多くの企業でも、小中学校のようにコミュニケーションの一環として挨拶運動などを同じようにやったりしています。

各学校でもさまざまな挨拶のお話をされていると思いますけれども、大人になってもできないという人が多いので、ぜひその大切さを忘れてほしくない、「学校だより」を見て感じました。

簡単ですが以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございました。

それではこれで、平成29年第5回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後3時43分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

平成29年6月15日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

那須 雅美